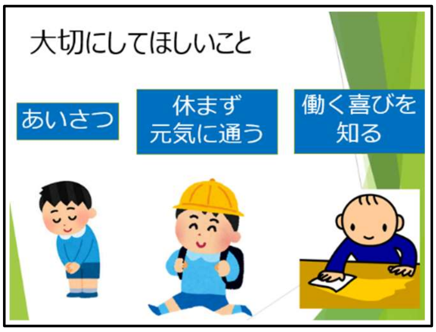
令和７年度　進路だより
わくわくワーク　第４号

令和８年１月９日
富山県立しらとり支援学校
進　路　支　援　部

新年あけましておめでとうございます。今回は、１２月に行われた本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。

「小学部進路説明会」（１２月３日開催）

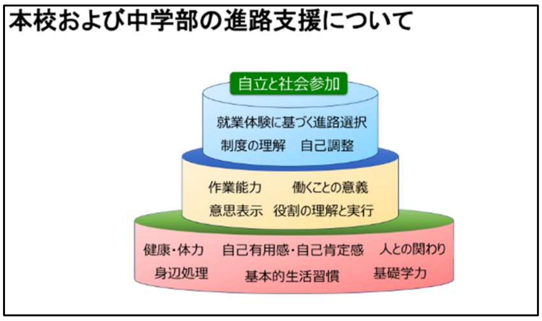
小学部５・６学年の保護者を対象に行いました。
小学部担当者から「本校及び小学部の進路支援」や「中学部の学習について」を説明し、進路支援部からは「高等部卒業後の進路先」や「将来に向けて身に付けたい力」などについて、本校高等部の生徒が校外就業体験先の各事業所で実際に作業をしている映像も交えて説明しました。卒業後の姿を見据えて、その土台となる力を小学部段階から積み上げていくことの大切さや、進路先についての情報や将来に向けて大切にしてほしいことなどを伝えました。

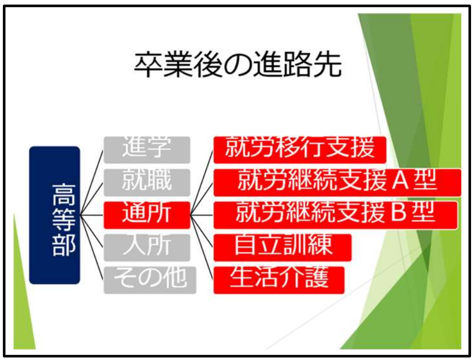


参加された保護者からは、「将来の見通しがもててよかった」「将来どのような職業が向いているのか、学校生活の中で先生方の意見や資料などを参考にして考えていきたい」「就業体験でどんなことをしているのか映像を見ることができてよかった」「本人に合った進路を選びたいが、希望の事業所に行くことができるか心配だ」などの感想が聞かれました。

「中学部進路説明会」（１２月２日開催）

中学部１・２学年の保護者を対象に行いました。
中学部担当者から「中学部の進路学習」、「進路支援の流れ」、「県立特別支援学校高等部入学者選抜」について説明しました。進路に関する学習は生活単元学習や作業学習を中心に行っていますが、卒業後の進路について早くから関心をもち、調べたり見学したりして情報を得ていただきたいことを話しました。





進路支援部からの「高等部卒業後の進路について」では、障害福祉サービスのそれぞれの特色を説明するとともに、高等部生徒の校外就業体験の様子を映像を交えて紹介しました。
参加された保護者からは、「進路について考えるよい機会になった」「高等部卒業後の進路先や、各事業所の地図は今後のことを考えるにあたり大変役に立つ」「将来の生活が想像しがたく不安が多い」などの感想が聞かれました。

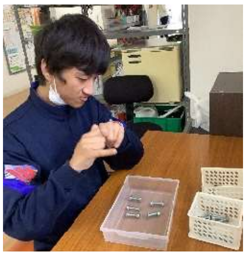
第２回高等部就業体験（11月10日～21日）

　将来の進路を考える上で就業体験は非常に大切な学習活動です。一人一人の自立と社会参加に向け、ステップアップできた体験となりました。体験の様子を紹介します。

校内就業体験
＜内容＞ハウスワーク班
＜体験の様子＞
　食物グループでは、初めてパウンドケーキを作りました。道具洗いでは、丁寧に洗い、泡がなくなっているかを確認しました。流し洗いでは、手順表を見ながら自分で作業を進めることを頑張りました。

＜内容＞余暇活動
＜体験の様子＞
　午後の余暇活動では、みんなでシュートゲームをしたり、ミュージックケアで鈴を鳴らしたりしました。

多機能型施設　ジョブステーションさくら奥田事業所（生活介護事業所）
＜内容＞部品の仕分け、箸入れ、トイレ掃除など
＜体験の様子＞
　さくらボックスの部品の仕分けやコネクター部品の取り付け、ボルトナットの作業を時間いっぱい最後まで頑張りました。



就労支援多機能型事業所　わかば（就労継続支援Ｂ型事業所）
＜内容＞ダンボールのシール貼り、クッキー作り
＜体験の様子＞
　正確、丁寧にシールを貼るために、台紙を切ってシールを貼る練習から始めました。台紙を真っすぐ切ることを意識して作業をしました。今回は初めて、月曜日から金曜日まで１週間続けて仕事をすることができました。

富山大学総務部キャンパスクリーンチーム（一般就労）
＜内容＞キャンパス内の清掃、ごみ回収、落ち葉掃除
＜体験の様子＞
　廊下や階段の清掃、ごみ回収の仕事をしました。汚れがないかを自分で確認しながら掃除をしました。きれいになって嬉しいと思いました。教えてもらったことを自分でできるように頑張りました。

就業体験を終えて

　事業所の方にいただいたアドバイスを紹介します。
・自分から挨拶できるとよい。
・周りの利用者との関わり方、丁寧な言葉遣いを身に付けるとよい。
・一人で休憩時間を過ごせるとよい。
　いただいたアドバイスは、学校と家庭で連携をして今後の支援に生かしていきたいと思います。